

事務事業名		被服等貸与事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業		
政策体系	政策名	05 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目		
	施策名	22 防災体制の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計 款 項 目 事業		
	基本事業名	05 消防体制の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27年度～)		01 09 01 02 11		
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		事務事業区分		
所属	部課名	大船渡消防署		年度～年度		A 政策事業 B 施設整備		
	課長名	村上 成樹		↓		C 施設管理 D 補助金等		
	係名	消防団係	電話	27-2119		E 一般(A～D以外)		
	担当者	上部 朝喜	内線	246		※全体計画欄の総投入量を記入		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の消防活動を行う上で安全かつ機能的な服装を確保するために、半纏、ヘルメット、半長靴、活動服、編み上げゴム長靴、雨衣、防寒衣等を大船渡市消防団規則に基づく支給計画で貸与している。活動服については、服制基準(安全性及び機能性を兼備えた新ガイドライン)に沿ったものを市総合計画に基づき貸与している。 新入団員については全員に貸与し、現団員については、主に活動服を貸与している。 				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金	
					人件費	都道府県支出金		
						地方債		
						その他		
						一般財源		
						事業費計(A)	0	
					正規職員従事人数			
					延べ業務時間			
					人件費計(B)	0		
					トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称 単位	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 新入団員分被服購入数 着	
<ul style="list-style-type: none"> 新入団員へは半纏一式、活動服、アポロキャップ、半長靴、編み上げゴム長靴を貸与し、現団員へは、活動服、半長靴を貸与した。 		イ 現団員分被服購入数 着	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
<ul style="list-style-type: none"> 新入団員へは、半纏一式、活動服、アポロキャップ、半長靴、編み上げゴム長靴を貸与し、現団員へは活動服及び雨衣等を計画的に貸与する。 		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称 単位	
・消防団員		カ 消防団員数(新入団員) 人	
		キ 消防団員数(現団員)※上記新入団員は除く 人	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
<ul style="list-style-type: none"> 安全で活動しやすい被服を貸与することで、災害活動時、安全でより効果的な活動ができる。 乙種制服(半纏一式)を貸与することで、団員としての自覚を持ち、連帯感が生まれ、モチベーションが向上し、消防団活動の質が向上する。 		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称 単位	
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡市消防団員という自覚を持ち災害活動及び各種行事において活動することができる。 消防団活動の質が向上することで、市民の信頼を得られる。 		サ 新入団員への被服貸与率 %	
		シ 現団員への被服更新率(単年) %	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度		27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)
				27年度	28年度						
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円		4,269	3,809	3,056	2,565	3,277	2,565	
		事業費計(A)	千円		4,269	3,809	3,056	2,565	3,277	2,565	
人件費	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間		900	900	900	900	900	900	
		人件費計(B)	千円		3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	
		トータルコスト(A)+(B)	千円		7,869	7,409	6,656	6,165	6,877	6,165	
		⑤ 活動指標									
⑥ 対象指標		ア	着		44	39	37	30	34	18	
		イ	着		0	0	0	0	3	30	
		ウ									
⑦ 成果指標		カ	人		44	39	37	30	34	18	
		キ	人		922	905	927	891	884	818	
		ク									
⑦ 成果指標		サ	%		100	100	100	100	100	100	
		シ	%		-	0	0	0	0.3	4	
		ス									

事務事業ID	1104	事務事業名	被服等貸与事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 ・安全で効率的な災害活動の遂行、消防団員としての自覚を持つことなどによる消防団活動の質の向上を目的とし、大船渡市消防団員被服等貸与規程（平成元年7月24日施行）に基づき貸与している。

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 ・活動服については、服制基準（安全性及び機能性を兼ね備えた新ガイドライン）の変更に対応しながら計画的に貸与している。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 ・劣化や服制基準の変更により、被服の更新を計画的に行って欲しい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	・被服を貸与することは消防団組織の統制を図り、消防団員の意識を高揚し、消防力の充実に結びつき、安心・安全なまちづくりの推進が図られる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	・この事業の対象である消防団は、非常勤の地方公務員である。また、消防団は、消防組織法第9条により市が設置し運用しているものであり、条例の定める大船渡市消防団員被服等貸与規程に基づくものであることから、市の責任において実施することが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	・大船渡市消防団員に対する職務上必要な被服等の貸与事業であることから妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	・被服貸与規程に基づく更新が、予算不足により困難である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	・初任団員はもとより現団員へは入団時の貸与と計画的な更新が必要であり、災害活動時に安全で効率的な活動が困難となる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	・服制基準に沿った被服を契約事務により安価で購入していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	必要人数で遂行していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	・安全で効率的な災害活動の遂行、消防団員としての自覚を持つことなどによる消防団活動の質の向上につながり、市民の信頼を得られることから、公平・公正となっている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	令和2年度の新入団員は18名であったが、例年新入団員数が40名前後であるので、現在40名で予算計上している。現団員については、予算が不足して計画的に更新できないが、事務事業的に人件費削減が可能か今後、継続して見直す必要がある。